

# 「構造化表」と「コース構成表」の関係

## 構造化表

- 研修の実施に向けて、研修の受講者が理解しやすい単元構成となるよう、コースの「構造化表」を基に、研修の各単元で教える内容の範囲と単元名、学ぶ順番を設定する。

※構造化表とは：防災基本計画等から防災スペシャリストに求められる能力を身につけるために必要な学習項目を、研修コース(10コース)ごとに、横軸に「学習テーマ」、縦軸に身につけるべき能力(活動の前提、活動遂行能力(知識・技能・態度))で整理したもの。

単元で教える内容の範囲

防災スペシャリストに求められる能力を身につけるために必要な学習項目

項目	学習前提の能力・基礎	学習の前提	学習の前提・学習内容
活動の前提	<b>1. 警戒避難対策の枠組</b> 1.1 警戒避難対策の枠組 1.2 警戒避難対策の枠組 1.3 警戒避難対策の枠組	<b>2. 警戒等の種類と内容</b> 2.1 警戒等の種類と内容 2.2 警戒等の種類と内容	<b>3. 避難の判断</b> 3.1 避難の判断 3.2 避難の判断 3.3 避難の判断
知識	<b>4. 避難勧告・指示等の実施と課題</b> 4.1 避難勧告・指示等の実施と課題 4.2 避難勧告・指示等の実施と課題	<b>5. 避難勧告・指示等の実施と課題</b> 5.1 避難勧告・指示等の実施と課題 5.2 避難勧告・指示等の実施と課題	<b>6. 避難勧告・指示等の実施と課題</b> 6.1 避難勧告・指示等の実施と課題 6.2 避難勧告・指示等の実施と課題

研修の実施に向けて、具体的な授業の内容を計画

## コース構成表(単元名・研修手法・単元の概要・学習目標)

- コース別に、各単元の授業内容を計画したもの。
- 「構造化表」を用いて設定した単元構成に基づき、各単元の研修手法、単元の概要、学習目標を設定する。(カリキュラム)



単元名	研修手法	単元の概要	学習目標
1 警戒避難対策の枠組	座	警戒避難対策の基本的な考え方とタイムラインを通じて事前対策を学ぶ。	・ 警戒等の伝達及び避難誘導の目的、実施主体と役割について説明できる。 ・ 警戒等の伝達及び避難誘導等の判断・伝達の流れについて説明できる。 ・ タイムラインによる災害の未然防止と拡大防止について説明できる。
2 警戒等の種類と内容	座	地震計、震度計、報道情報から発表される警戒等にはどのようなものがあるかを学ぶ。	・ 警戒等の種類と内容について説明できる。 ・ 警戒等の入手・伝達の方法と手段について説明できる。
3 警戒等の伝達上の実際と課題	座	警戒等の住民等への伝達の実例と課題についての事例を学ぶ。	・ 警戒等の伝達の実例と課題について説明できる。 ・ 火災情報を伝達する際の課題について、事例に沿って説明できる。
4 警戒等の伝達の実践	演	警戒等の伝達の一連の流れを具体的な業務について演習する。	・ 警戒等の情報の見方、判断ポイントを説明できる。 ・ 警戒等の伝達の流れと伝達方法を説明できる。
5 避難勧告・指示等の判断・伝達	座	住民等への避難行動にはどのようなものがあるかを学ぶ。	・ 住民等の避難行動の考え方を説明できる。 ・ 避難準備情報や避難勧告等の判断に必要な考え方を説明できる。 ・ 避難勧告等を住民に伝達し、行動するための伝達方法について説明できる。
6 避難勧告・指示等の実施と課題	座	住民等への避難勧告・指示の実例と課題についての事例を学ぶ。	・ 住民等の避難勧告・指示の実例と課題について説明できる。
7 避難勧告等の判断・伝達訓練	演	避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインに準拠した避難勧告等の判断・伝達訓練の一連の行動を演習する。	・ 避難勧告等の判断・伝達訓練の目的と実施方法について説明できる。 ・ 避難勧告等の伝達訓練のポイントを説明できる。
8 避難所・避難場所の認定	座	住民等への避難行動の目的となる避難所・避難場所にはどのようなものがあるかを学ぶ。	・ 避難所・避難場所の認定の方法について説明できる。
9 避難所・避難場所の適否判断の実例	演	災害ごとに避難所・避難場所の適否判断をするうえでの行動を演習する。	・ 避難所・避難場所の適否判断の基本的な考え方を説明できる。 ・ 避難所・避難場所の適否判断を適切に行うためのポイントを説明できる。
10 全体討議	演	防災力アップのため、警戒避難について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考える。	・ 研修受講者の目的を明確にする。 ・ 研修を通して、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次に活かすことを確認する。